

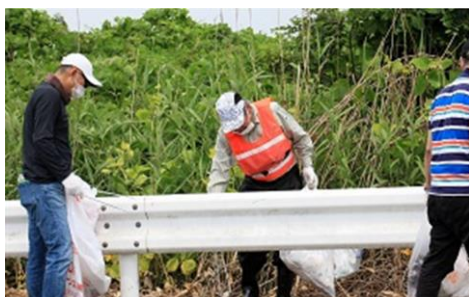
自治会だより



深作多目的遊水地協議会および環境専門委員会からのお知らせ

1. 6月13日（日）に「ごみゼロキャンペーン市民清掃活動」を行いました。

約 50 名の参加があり、8 の字公園→遊歩道→ひがしはる野側遊水地のり面→門前橋→通称：イタチの森と広範囲の清掃ができました。多数の参加ありがとうございました。イタチの森付近は、6月9日（日）にひがしはる野自治会により、ゴミ拾いが実施されましたが、その後も投棄がされておりました。その全てのごみを回収いたしました。



2. 6月18日（金）に、「さいたま市農業環境整備課」により、門前橋から遊歩道入り口までの防草シート工事が行われました。

「通称:イタチの森」付近で、大型ゴミの違法投棄の場所になっていましたが、防草シートの施工がされ、きれいに整備されました。草が生い茂った環境が改善され、捨てづらい環境になり、ごみの投棄も減ってくる考えられます。

2月からの行政への要望に、さいたま市が迅速に対応してくれました。感謝、感謝です。



（防草シート施工前）



（防草シート施工後）

3. 6月27日(日)に、春岡公民会で「深作多目的遊水地協議会総会」を開催いたしました。

遊水池公園の環境について、周辺の10自治会で協議していくために18年8月に始まった協議会が、第三回の総会を開催いたしました。

今年度は、遊水地内の雑木の整理、協議会主催の公園・遊水地の清掃活動およびイタチの森の防草シート工事等、遊水地の周辺環境は少しずつですが改善されてきていると感じています。先日、緑の映える公園内でフォトウエディング撮影が行われていました。

12年ほど前に、遊水地の住民アンケートに「荒れて見捨てられた公園」と書かれた時から雲泥の差です。自然環境の先生から、住民が関心をはらわなければ自然は荒れていく。関心を持って改善を行えば、人にやさしい環境が出来上がってくるとレクチャーを受けました。今後も改善サイクルが回って行くように、環境専門委員活動および深作多目的遊水地協議会活動を続けていく予定です。今後も、皆様のご支援をお願いいたします。



防災資機材点検・試運転の報告



自主防災組織は6月13日(日)10時30分より、集会所中庭にて、運営規則第9条(2)に定められた防災資機材の確認と点検を行いました。具体的には防災資機材の有無・動作可否・消耗品の状態などを、自治会役員・防災対策専門委員及び防災ボランティア合計21名で確認いたしました。資機材の中には、購入後かなりの年月を経たものも多く、一部は破棄せざるを得ないものもありました。今回破棄となったのは、替えのバッテリーが購入不可能となった投光器(スミスライト)1台でした。東三番街の防災資機材はいざという時を考えるとまだ不十分です。今後は防災計画に基づき、必要な資機材の検討を行って参ります。繰り返して申し上げますが、自主防災組織では災害時の水や食糧の備蓄は、各家庭で行って下さい。その量は人数×3~10日分の備えが、必要とされていますのでよろしくお願いいたします。

迷惑駐車について

お気づきの住民もいたと思いますが、東三番街敷地内で長期に渡る迷惑駐車が確認されておりました。5月GW直前の夜廻りで自治会役員が気付き、都度注意の張り紙を添付しましたがこれを無視、繰り返し駐車を続けるというかなり悪質な状況でした。このことを管理組合に申し入れ、より強い文面の注意書きを張ったところ車両はなくなりましたが、解決まで実に1ヶ月を要する事態となりました。ご存じのように団地内敷地は駐車禁止区域でもあります。生活上の短時間駐車等で張り紙をされ、過去に問題となったこともありましたが、悪質な駐車に対しては厳しい態度で臨む必要があります。自治会としても住民が安心・安全に暮らせる環境を構築していけるよう今後も管理組合との連携を強化していきたいと考えています。

7 月度資源物回収日と資源物回収状況

★資源物回収対象品目は、「新聞」「段ボール」「雑誌」「牛乳パック」「繊維」「アルミ缶」の6品目です。

①資源物回収日

7月3日（土）、7月17日（土）両日とも、集会所玄関前に、**当日の朝から午後2時までの間**にお持ちください。（台車も自治会掲示板付近にご用意しています。）

②資源物回収状況

5 月度	2,080 kg	（前年度比 58.1%）	含むアルミ缶	40 kg
1 月～5 月度の累計	11,700 kg	（前年度比 90%）	含むアルミ缶	140 kg

自治活動（各役員）って、どんな活動しているの？

会長、副会長以外の各役員の自治会活動を自治会だより6月号～9月号にてご紹介します。

<会計>

自治会活動に伴うお金の出入りを管理・記録します。

- ①自治会費の集金、入退会届及び特別会員届けの整理
- ②自治会会計出納簿作成
- ③各会費（自治会連合会、社会福祉協会等）、募金（赤十字、共同募金）の振込み
- ④自治会総会の議案書（予算・決算）の作成
- ⑤夏祭りの会計

<防犯・防災>

防犯防災担当は、自治会の防犯防災に関する様々な業務を行います。具体的には、自主防災組織の活動を事務局として支えます。また毎年の防災訓練、避難所運営訓練も担当しますし災害時に管理事務所に設置される東三番街災害対策本部の事務局業務も担当いたします。

その他に防災専門委員会や市民懇親会等の会議にも参加します。勿論、自治会役員会や自治会の行事にも参加します。

春岡村の伝説

明治35年 春岡村の女工哀史

「挽割一升到米一合、才菜は味噌一掴みに塩が二掴みという割合の汁が一杯だけ、お昼食は沢庵二切れかそれもなければスモモの塩漬けが三つか五つ、晩は前の塩汁、魚というものは3年の間に鰯の乾物一枚と鯿一本を見ただけでございます」（参考『埼玉県警察史第1巻』）

これは明治35年、春岡村丸ヶ崎にあったコールテン織物工場の工女桶谷ハルノが検事に語ったものです。工場では石川県や富山県から来た15～16歳の女工が27～8名働いていました。ほとんどが口減らしや家計を助けるため、桂庵（けいあん）と呼ばれる口入れ屋に「東京の良い工場へ就職させてやる」とだまされ、多額の前借金で働かされている少女たちでした。一日の労働時間は朝4時から夜10時。一日の業務は2丈5尺と決められ、丈尺に達しないと翌日の午前1時、3時まで延長されたり食事を2食に減らされたりしました。さらに工場主やその母親による監禁、制縛、衣服屏去、殴打、拷責といった体罰が日常におこなわれていました。（参考『埼玉県行政史第1巻』）

余りに過酷なため何人もの女工が逃亡を図りましたがそのたびに連れ戻され、他の女工への見せしめにひどい乱暴を受けました。石川県からきていた田端ツヤは工場を三度逃げ出しては連れ戻され、四度目の脱出である渡し場のところで事情を話すと「電信柱の並んでいる道を行け」と教えてもらいました。（ちなみに埼玉で送電が開始されたのは浦和で明治37年でした）夜も明けるころ東京に入り、家や電信柱の数も増え、東京帝国大学の赤門の前を通り、親切な人の指図で時事新報社にたどり着き、工場の実情を話すことができました。

（参考『子どもたちに伝えたい19の歴史』）

「…憐れなる女工、24人中半数以上はトラホームに雇われ視力弱きのみならず中には顔色青褪めて、身体系のごとく痩せ衰えたる者10余人あり。また、頭髪を断ち切れ盲目にして病に罹る者2人あり…」 『時事新報』 明治35年8月20日付 (参考『大宮のほとむかし』)

結局、丸ヶ崎の工場主とその母親は浦和地裁で重禁固2年罰金30円の重罪に処せられました。

こうした女工虐待事件は明治30年代に大宮だけでなく上尾、浦和、与野でも起きていました。女工への虐待を報告した『職事情』が明治36年に農商務省より刊行され、8年後の明治44年「工場法」がようやく成立し、女子を12時間以上働かせることは禁じられました。

(参考『埼玉県行政史1』)

一方、片倉製糸や山丸製糸といった大工場は待遇、健康管理、教育等に配慮がされていたといわれていますが実情は、労働時間は15時間、朝食は麦飯に味噌汁と沢庵少々、お昼だけさんま半切れなどの副食がついたものの食事時間は15分くらいで昼休みはありませんでした。月二回の休日はたいてい外出止めで、僧侶による「人間は欲が深い。うまいものが食べたい、いい着物を着たい、仕事が面白くない、こんな時には、なむあみだぶつという箒でこの邪念を掃くことだ。こうするといろいろの邪念が吹き飛んで明るい気持ちになって一生懸命仕事ができるようになる」といった法話や噺家による講談で、若い工女らにとっては面白くも有難くもなかったということです。

(参考『大宮のいま〜』)

(他に参考図書として『多聞院に眠る少女たち—大宮にもあった女工哀史』)

(平山 由喜)

便利で身近な存在
地域No1スーパー



東大宮店

良い商品を毎日安く
地域の皆様に
お届けします

TEL 682-0646



More For You
もっと、街暮らし・笑顔のために



深作支店
さいたま市見沼区深作2-1-2
電話 (048) 688-5191



【販売と施工】
水漏れの修理からリフォームまで
システムキッチン・冷暖房設備
ユニットバス・トイレ洗面化粧台等

・営業時間 9:00~19:00
・定休日 日曜、祭日

お湯・水・ガス・住まいのリフォーム

有限会社 古沢商店

お見積り無料 TEL 0120-230-371
さいたま市見沼区深作2-23-8



皆様の御協力に
感謝申し上げます。

地域のホームドクター
内科、皮膚科、小児科、
リハビリテーション

春野クリニック
深作3-40-5
(Tel)680-1122

休診日：日祭日
月～金 9:00～13:00
15:00～19:00
土 9:00～13:00
14:00～17:00
(30分前で受付終了)

眼科全般
日帰り白内障手術

のいり眼科
クリニック

東大宮6-9-1
☎048(688)7575
バス停：東大宮6丁目・丸ヶ崎 近く
診療時間 9:00～12:30
15:00～18:00
休診日 土曜午後・日曜・祝日